

# 株式会社 法蔵館

## 2020年度 日本史研究会 特別割引販売のご案内

期限： 2020年10月末日

価格： 全品20%OFF（経典・雑誌類は対象外） 公費払可

送料： 割引後本体価格5,000円未満 → 450円（税込）  
割引後本体価格5,000円以上 → 無料

ご注文方法： F A X注文書、またはメールにてご注文ください。

※メールでのご注文の場合「日本史研究会 特別割引」と明記ください。

お支払方法： 商品同送の振込用紙をご利用ください。

公費利用の場合は、ご注文の際に必要な書類をお知らせください。

---

### 【お問い合わせ】

株式会社 法蔵館 販売促進部 担当：森江、秋月

T E L : 075-343-0458

F A X : 075-371-0458

e-mail : 秋月 → T-Akitsuki@hozokan.co.jp

森江 → morie@hozokan.co.jp

# 戦国期宗教勢力史論

安藤 弥著  
(同朋大学文学部教授)

A5判・618頁・本体12,000円+税  
ISBN:978-4-8318-6251-8

日本社会が中世から近世へと変革していく十五世紀後半から十六世紀、戦国期宗教勢力としての本願寺教団の歴史の実態を明らかにする。

## ■目次

序 論

第I部 戦国期本願寺教団の儀式・組織

第一章 本願寺「報恩講」の始源  
——親鸞～覚如期・親鸞三十三回忌

第二章 本願寺「報恩講」の確立  
——蓮如～実如期・「教団」形成との関係性

第三章 本願寺「報恩講」の展開  
——証如期・「教団」構造との関係性

第四章 親鸞三百回忌の歴史的意義(一)  
——顕如期・「報恩講」の変容

第五章 親鸞三百回忌の歴史的意義(二)  
——「報恩講」のはじまり

第六章 戦国末・近世初期の本願寺「報恩講」

第七章 大坂本願寺の御堂衆をめぐって

第八章 大坂本願寺における「齋」行事

補論1 『顕誓領解之訴状』考

補論2 「権化の清流」は「霊場」へ  
——『反古裏書』に読む戦国期真宗僧の論理

補論3 戦国期真宗僧の歴史認識  
——『山科御坊事并其時代事』から  
『本願寺作法之次第』へ

第II部 戦国期本願寺教団の社会的位置

第一章 中世の本願寺造営史  
——大谷・山科・大坂・天満

第二章 戦国期本願寺「教団」の形成

第三章 本願寺証如『天文日記』について

第四章 戦国期の大本願寺教団と比叡山延暦寺  
——『天文日記』の検討を中心に

補論1 本願寺顕如の誕生・継職

第五章 本願寺「門跡成」ノート

補論2 本願寺の脇門跡興正寺顕尊について

第六章 京都東山大仏千僧会と一向宗  
——戦国期宗教勢力の帰結

補論3 「一向宗(衆)」について

第七章 本願寺教如の生涯と歴史的論点

第八章 本願寺教如の宗教活動と社会的位置

本書の総括と今後の課題

初出一覧  
あとがき  
索引

## 戦国期宗教勢力史論

安藤 弥著

法蔵館

# 「三国志」の知恵

狩野直禎著  
(2017年2月逝去)

四六判・219頁・本体1,800円+税  
ISBN:978-4-8318-7732-1

「三国志」世界の重要なポイントを知り、乱世を生き抜いたヒーローたちの知恵に学べる、最良の三国志入門書。井波律子氏、解説。

## ■目次

序 「三国志」と現代  
「三国志」の舞台・成都へ／劉備玄德の苦難時代／「天下三分」の形勢／長江の古戦場をたどる／劉備の墓に詣でる／孔明の北征、への道／現代に生きる「三国志」

I 「三国志」の誕生と流布  
歌舞伎に出てくる「三国志」／人気を博する登場人物／ルーツは陳寿の『三国志』／裴松之の「注」の出現／『三国志演義』成立の前史／「平話」・「元曲」・講談／宋代の講談(説話)の流行／唐代に源流をさぐる／『三国志』と「演義」の普及／広く流布した翻訳・翻案

II 「三国志」の時代  
「黄巾の乱」始まる／太平道と五斗米道／大土地所有と豪族／任侠的な結びつき／豪族の隆盛と農民の没落／官官の進出と専横／魏朝の税制と兵制／特色ある呉の兵制／官僚制度の整備／文武両道にすぐれた曹操／芸術の興隆と宗教

III 「三国志」のヒーローたち  
天下大乱の情勢／天下三分の成立／晋朝による天下統一／後漢末のヒーローたち——献帝・何進・董卓・呂布・袁紹と袁術・その他の州牧たち／蜀漢国のヒーローたち——劉備・劉禪・諸葛亮・関羽・張飛・趙雲・馬良と馬謖／魏朝のヒーローたち——曹操・曹丕・夏侯惇と夏侯淵・荀彧と荀攸・司馬懿／呉朝のヒーローたち——孫権・孫堅と孫策・周瑜・魯肅・呂蒙・陸遜

IV 「三国志」から何を学ぶか

1 知謀と計略 「天下三分の計」／正確な現状分析／献帝擁立の策略／計略を生かす条件／仲達と孔明のかけひき／死せる孔明、生ける仲達を走らす／司馬仲達のクーデター／先の先を読む／参謀同士の知恵くらべ／黄蓋の「火攻の計」／赤壁の戦い、息もつけぬ攻防戦／呂蒙の深謀遠慮、敵の弱さを見ぬ

2 選択と決断 複雑に入りこんだ情勢／慎重論と急戦論の対立／武官と文官の対立／機会をどうとらえるか／白馬の戦い、持久戦か？ 決戦か？ 「官渡の戦い」／「烏巢の戦い」／撃つべき敵は誰か／孫権と劉備の同盟／孔明、必死の説得／勝利を導いた決断

3 信義と背徳 「けじめ」を示した関羽／「出師の表」にみる忠誠心／あるべき「君臣」の関係／「泣いて馬謖を斬る」／裏切られた部下／曹操＝悪玉説／裏切りの常習者・呂布／不運な劉備の前半生／信頼を得る条件／日和見主義の孟達／小悪党、の末路／董卓の暴虐ぶり

4 虚名と実力 名声と実力の不一致／ハリコの虎だった劉表／人望も実力のうち／人材をどう生かすか／見ぬかれていた虚名、身のほど知らずの袁術／みずから招いた失敗／実力でなり上る／名声を利用した成功

5 勝者と敗者 勝者の条件とは何か／自分自身を知れ／後継者争いの勝敗／「豆を煮るに豆がらを燃やす」／悲運の敗者・沮授／聞き入れられない提言／敗者から学ぶ教訓

あとがき  
解説 (井波律子)



乱世に生きる人々の  
各人各様のイメージが  
乱反射する面白い

解説=井波律子

法蔵館(東洋文庫) 定価:本体1,800円(税別)

# 貞慶撰

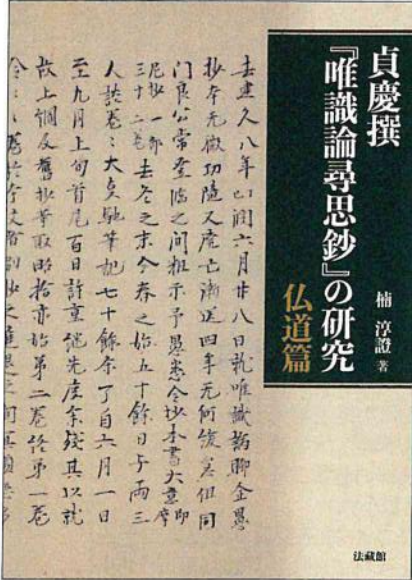
仏道篇

# 『唯識論尋思鈔』の研究

楠 淳證著  
(龍谷大学文学部教授)

A5判・750頁・本体 13,000円+税  
ISBN:978-4-8318-6377-5

鎌倉初期の著名な唯識学匠・貞慶が著した法相論義に関する総合書(論義抄)『唯識論尋思鈔』を詳密に読解し、その仏道論を闡明する。



## ■目次

- 第一部 貞慶の仏道論
  - 第一章 遁世と仏道
    - 第一節 貞慶の遁世
    - 第二節 貞慶消息「故解脱房遣坂僧正之許消息之状」
    - 第三節 遁世の意義
  - 第二章 論義と仏道
    - 第一節 法相論義の形成と展開
    - 第二節 貞慶撰『唯識論尋思鈔』の成立
    - 第三節 『唯識論尋思鈔』撰述の意義
  - 第三章 講式と仏道
    - 第一節 仏道論より見た伝灯法会
    - 第二節 貞慶撰述の講式と浄土信仰
    - 第三節 貞慶撰述の講式と余他の諸信仰
- 第二部 貞慶教学(論義)と仏道
  - 第一章 五姓成道論の展開
    - 第一節 はじめに
    - 第二節 五姓各別説の成立
    - 第三節 『尋思別要』における一乗融会論
    - 第四節 『尋思別要』における定姓二乗論と無姓論
    - 第五節 『尋思別要』における大悲闡提論
    - 第六節 無性闡提会通論
    - 第七節 むすび
  - 第二章 三祇成道論の展開
    - 第一節 はじめに
    - 第二節 「撰在一刹那」と仏道
    - 第三節 「多仏繫属」と仏道
    - 第四節 むすび

- 第三章 浄土成道論の展開
  - 第一節 はじめに
  - 第二節 多重浄土論と一四天下論
  - 第三節 弥陀浄土信仰展開の諸理論
  - 第四節 釈迦・弥勒・観音の三尊浄土信仰の展開
  - 第五節 むすび
- 第三部 『唯識論尋思鈔』の翻刻読解研究
  - 第一章 「撰在一刹那」の展開
    - 第一節 はじめに
    - 第二節 『般若臺談抄』の「撰在一刹那」
    - 第三節 『尋思通要』の「撰在一刹那」
    - 第四節 むすび
  - 第二章 「一仏繫属」の展開
    - 第一節 はじめに
    - 第二節 『尋思別要』の「菩薩種姓一仏繫属有無」
    - 第三節 『尋思通要』の「一仏繫属」
    - 第四節 むすび
  - 第三章 「変化長時浄土有無」の展開
    - 第一節 はじめに
    - 第二節 変化長時浄土有無
    - 第三節 諸仏本願取浄穢二土差別
    - 第四節 知足内院浄穢義
    - 第五節 西方有異義
    - 第六節 むすび
  - 第四章 「命終心相」の展開
    - 第一節 はじめに
    - 第二節 命終心相
    - 第三節 むすび

# 日本仏教と論義

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 13

楠 淳證、野呂 靖、亀山隆彦編

A5判・628頁・本体 7,500円+税・ISBN:978-4-8318-6380-5

(龍谷大学文学部教授)、(龍谷大学文学部准教授)、(龍谷大学非常勤講師)

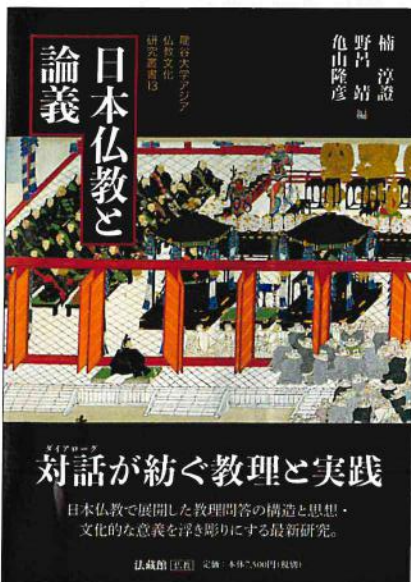
仏教学・歴史学・文学などの多様な分野の最先端研究が、日本仏教で展開した教理問答の構想と思想的・文化的な意義を浮き彫りにする。

## ■目次

- 序 文(楠 淳證)
- 第一部 法相・華嚴の論義
  - 法相論義と仏道
    - 『成唯識論同学鈔』に見る不成仏種姓の会通(楠 淳證)
    - 法相論義「真報主」と源信(唐決)
    - 輪廻の主体をめぐる二大宗間の一大諍論(西山良慶)
  - 因明論義の形成と展開
    - 善珠における論証主題(宗paksa)・根拠(因hetu)・喩例(喩 dr̥ṣṭānta)の三支を中心として(後藤康夫)
    - 因明論義「有為相量」について(蜷川祥美)
    - 日本華嚴における龍女成仏義(高田 悠)
    - 高山寺所蔵『三生成道料簡』について——附・翻刻(野呂 靖)
- 第二部 天台・真言の論義
  - 天台論義の基礎と文献(藤平寛田)
  - 自受用身に関する天台論義から見えるもの(大久保良峻)
  - 天台の論義書と談義書
    - 『法華経』『三大部』を中心に(渡辺麻理子)
    - 宗性筆『法華文句第五卷抄』について(松本知己)
    - 論義の歴史と真言宗(吉米地誠一)
    - 東密の論義——新義の論義を中心に(別所弘淳)
    - 東密論義と南都教学——三論宗との関係を中心に(田戸大智)
    - 中世東密の教学と「論義」(亀山隆彦)

- 第三部 論義と諸文化
  - 論義と宗論の文化史——宗教テキストの母胎(マトリック)としての論義(阿部泰郎)
  - 論義についてかたる南都の伝承
    - 維摩会と『春日権現験記絵』との相関(近本謙介)
    - 諸宗を語る天狗と八幡
      - その由縁と背景的要因をめぐって(山口眞琴)
  - 仏教文化としての相論資料
    - 『恩覚奏状』を中心として(三好俊徳)
    - 論義の芸能化とその展開(石井公成)
    - 江戸時代初期の御前論義の諸相(ラポー・ガエタン)
    - 十三世紀日本における戒律復興の異なる解釈(ポール・グローナー)(亀山隆彦訳)
- 編集後記(野呂 靖)
- 執筆者紹介
- 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書13
- 刊行の辞(楠 淳證)

Different Interpretations on the Revival of the Vinaya in Thirteenth Century Japan (Paul GRONER)



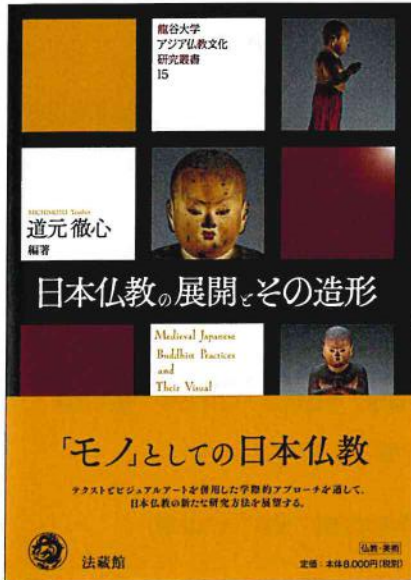
# 日本仏教の展開とその造形

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 15

道元徹心編著  
(龍谷大学理工学部教授)

A5判・400頁・本体8,000円+税  
ISBN:978-4-8318-6383-6

仏教は教理と造形が相互に作用して発展してきた。国内外の研究者が中世を中心に思想と美術の双方から日本仏教を考究する。



## ■目次

ご挨拶 (阿部龍一)  
総説 (道元徹心)

### 第1部 聖徳太子信仰とその具象

天皇代理者への崇拜——聖徳太子信仰と天皇制度との連関について(吉田一彦)

鎌倉日本における戒律復興運動に関する考察

——叡尊『聴聞集』を中心に(ポール・グローナー / 亀山隆彦 訳)

Reflections on the Movement to Revive the Vinaya (kairitsu fukkō 戒律復興) in Kamakura Japan: With a

focus on Eison's 叡尊 Chōmonshū 聴聞集 (Paul GRONER)

法隆寺東院舎利殿の美術と中世律宗(瀬谷 愛)

### 第2部 南都北嶺の仏教と美術

千親撰『法華三宗相对抄』に関する諸問題(道元徹心)

凝然教学の諸問題(藤丸 要)

貞慶の「法然浄土教批判」の特色——魔界法滅をめぐる(楠 淳證)

日本における阿弥陀浄土図の変遷(北澤菜月)

### 第3部 日本密教の展開とその造形

宇宙の音、空、浄土への道——日本の音楽における音楽の仏教的概念化(ファビオ・ランベリ / 菊川一道 訳)

Cosmic Sound, Emptiness, and the Path to the Pure Land: Buddhist Conceptualizations of

Music in Japanese Gagaku (Fabio RAMBELLI)

大日如来とは何か——三点説を中心として(佐藤もな)

密教修法の構成と特質と中世社会——孔雀経法を通して(上島 享)

記念の集合体——西国巡礼の木版観音札の掛軸(シェリー・ファウラー / 坂 知尋・嵩 宣也 訳)

Collective Commemoration: Kannon Print Scrolls from the Saigoku Pilgrimage: For Medieval Japanese

Buddhist Practices and their Expressions in Visual Art (Sherry FOWLER)

\* 図版一覧 (Illustration list)

龍谷大学の海外交流(日下幸男) / 執筆者紹介 / 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書15 刊行の辞(楠 淳證)

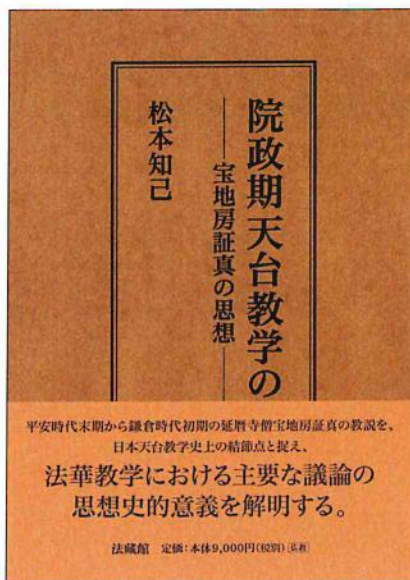
# 院政期天台教学の研究

宝地房証真の思想

松本知己著  
(早稲田大学非常勤講師)

A5判・455頁・本体9,000円+税  
ISBN:978-4-8318-7382-8

平安時代から鎌倉時代初期の延暦寺僧証真の教説を、日本天台教学史上の結節点と捉え、法華教学における思想史的意義を解明する。



## ■目次

序論

### 第一部 教判論と他宗観

第一章 証真の教判論

付論 毒発不定について

第二章 証真の教学と『法華玄論』

第三章 『註仁王護国般若波羅蜜經』の受容

### 第二部 二乗作仏論

第四章 『法華経』の授記をめぐる諸問題

第五章 廻心向大と方便有余土

第六章 不定教における二乗作仏

### 第三部 実践と断証、行位

第七章 証真の心識説

第八章 『維摩経文疏』所説の三観について

第九章 証真の教学における三種三観

第十章 証真の断惑論

第十一章 元品能治について

第十二章 乾慧断惑と二入通——証真説を中心に

第十三章 教証二道の報身について

### 第四部 東大寺宗性と天台教学

第十四章 宗性が学んだ天台教学

第十五章 宗性筆『法華教主抄』に見える教主論

付録 『法華教主抄』所収『顕法華義抄』佚文一覧

第十六章 宗性筆『法華文句第五卷抄』について

付録 『法華文句第五卷抄』翻刻

# 日本仏教と西洋世界

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 12

嵩 満也、吉永進一、碧海寿広編 四六判・366頁・本体2,300円+税・ISBN:978-4-8318-5559-6  
(龍谷大学教授)、(龍谷大学世界仏教文化研究センター客員研究員)、(武蔵野大学准教授)



日本近代仏教の革新者12名と西洋との交錯から、仏教再編の歴史を様々な局面で読み解き、日本仏教にとって「西洋化」とは何かを問う。

## ■目次

はじめに(嵩 満也・碧海寿広)

### I 伝統と国際化

東陽円月——非公式ハワイ開教僧たちの師匠(菊川一道)

前田慧雲——本願寺派宗学と西洋の対峙(内手弘太)

### II 留学と翻訳

南条文雄——近代仏教学と宗学のはざままで(嵩 宣也)

高楠順次郎——日本人の近代仏教学(碧海寿広)

木村泰賢——大乘仏教のゆくえ(川元恵史)

### III 科学との対話

島地黙雷——近代日本の科学と宗教(ハンス・マーティン・クレーマ)

原 坦山——身理的禅と実践の探究(ステファン・リジャ/碧海寿広訳)

釈 雲照——戒律復興への見果てぬ夢(亀山光明)

忽滑谷快天——常識宗と宇宙の大霊(吉永進一)

### IV 普遍性と固有性

釈 宗演——「普遍主義」との戯れ(ミシェル・モール/佐藤清子訳)

中西牛郎——「新仏教」の唱導者(星野靖二)

小泉八雲——怪談の近代(大澤絢子)

おわりに(碧海寿広)

各章扉写真出典一覧

執筆者・訳者略歴

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書12 刊行の辞(楠 淳證)

# 法然と大乘仏教

平岡 聡著  
(京都文教学園学園長)

四六判・216頁・本体1,800円+税・ISBN:978-4-8318-6067-5



法然の教えを糾弾した『興福寺奏状』には、当時の仏教界が異端と考えた法然の教えの特質が表れていた。仏教学を専門とする著者が、これまでにない視点から法然の教えを再評価した注目の書。

## ■目次

はじめに

第一部 法然仏教の本質

序章 準備作業

第一章 選択という思想

第二章 念仏観の反転

第三章 念仏のアイデンティティ変更

第二部 法然仏教と社会

第四章 浄土宗の開宗

第五章 本地垂迹説の否定

第六章 社会変革をもたらした法然仏教

終章 法然と大乘仏教

おわりに

参考文献

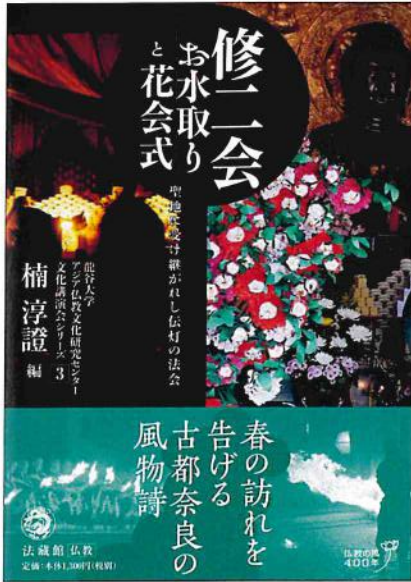
# 修二会 お水取りと花会式

聖地に受け継がれし伝灯の法会

楠 淳證編著、狹川普文、加藤朝胤著

四六判・118頁・本体1,300円+税・ISBN:978-4-8318-6432-1

(龍谷大学文学部教授)・(華嚴宗管長・東大寺別当)・(薬師寺管主)



お水取りと花会式として奈良で親しまれる修二会の世界を東大寺の狹川管長、薬師寺の加藤管主、仏教学者の楠氏がやさしく解き明かす。

### ■目次

序 辞(龍谷大学文学部教授 楠 淳證)

奈良時代から続く不退の行法——東大寺修二会の世界  
(華嚴宗管長・第二三世東大寺別当 狹川普文)

- 一 はじめに
- 二 東大寺と法
- 三 二月堂修二会の成立とその勤修
- 四 むすび

修二会花会式

——薬師寺の伝灯法会(法相宗大本山薬師寺管主 加藤朝胤)

- 一 はじめに
- 二 修二会花会式のお供え
- 三 悔過ということ
- 四 修二会花会式での悔過
- 五 お写経も行
- 六 むすび

南都の法会——仏に成る道

(龍谷大学文学部教授 楠 淳證)

- 一 はじめに
- 二 悔過の意義
- 三 論議の意義
- 四 説戒の意義
- 五 講会と講式
- 六 講式に見られる貞慶の諸信仰
- 七 臨終正念と臨終来迎
- 八 むすび

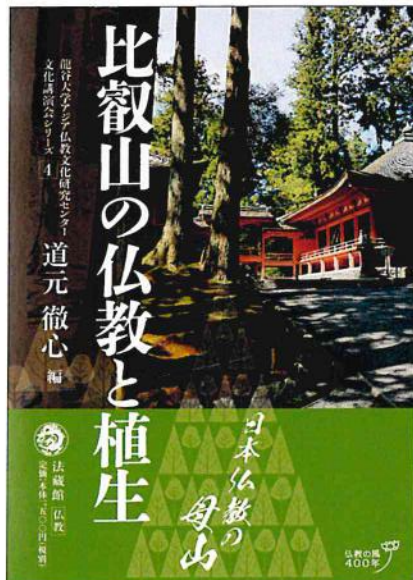
# 比叡山の仏教と植生

道元徹心編

四六判・214頁・本体1,500円+税・ISBN:978-4-8318-6433-8

(龍谷大学理工学部教授)

比叡山は「日本仏教の母山」と呼ばれ、伝教大師の教えと共に類い希な植生が守り伝えられている。その歴史・思想また現状を報告する。



### ■目次

はじめに(龍谷大学理工学部教授 道元徹心)

▶比叡山の森

——伝教大師 衣の森(延暦寺一山無量院住職 磯村良定)

- 一 はじめに
- 二 修行の山
- 三 近世における山林経営
- 四 比叡山の森林管理の現状
- 五 まとめ

▶辰張忌考

——比叡山の山林を巡る明治時代の行政裁判について  
(天台宗典編纂所編輯員 吉田慈順)

- 一 辰張忌とは
- 二 辰張忌の実際と社寺領上知令
- 三 村田師と大隈重信氏の邂逅
- 四 国有土地森林原野下戻法
- 五 おわりに

▶比叡山の森林施業——大師の森を守る  
(延暦寺一山松寿院住職 武 円超)

- 一 比叡山の山林
- 二 山林をとりまく環境変化
- 三 山林のゾーニング
- 四 最近の活動
- 五 大師の森を守る

▶比叡森林継承プロジェクトが持つ可能性  
(龍谷大学非常勤講師 村上明也)

- 一 比叡森林継承プロジェクトとは
- 二 比叡森林継承プロジェクトと地球環境問題
- 三 環境保護と宗教
- 四 草木成仏説と環境保護

▶比叡山の山修山学の理念と継承

(龍谷大学理工学部教授 道元徹心)

- 一 はじめに
- 二 山修山学について
- 三 元龜の法難と再興
- 四 相応和尚から続く葛川の滝と森と修行
- 五 主伐と植樹
- 六 むすび

▶比叡山の生物自然誌

——山林修行の場における生態復元にむけて  
(龍谷大学元教授 土屋和三)

- 一 はじめに
- 二 本草学から博物学への移行期の記録から
- 三 絵図・文献から探る植生の歴史の変遷
- 四 比叡山の延暦寺領の原植生の推定とその変容
- 五 天梯権現山と元三大師御廟の現状と生態復元について
- 六 比叡山の自然再生・創成への助走
- 七 将来の森の在り方への提言

# 大谷光瑞の構想と居住空間

龍谷大学アジア仏教文化アジア研究叢書 14

三谷真澄著 A5判・268頁・本体3,500円+税・ISBN:978-4-8318-6379-9  
(龍谷大学国際学部教授)



万能の人・大谷光瑞が手がけた代表的な居住空間を多角的に照射するとき、彼のいかなる構想が浮かび上がるのか。歴史・建築から探る。

## ■目次

- はじめに [三谷真澄]
- 【基調講演】大谷光瑞師のめざしたこと [入澤 崇]
- 大谷光瑞の建築観——生涯にわたる建築家との関わりから考察する [菅澤 茂]
- 二楽荘と神戸大港都構想論 [和田秀寿]
- 管見三夜荘 [市川良文]
- 中国における大谷光瑞師 [柴田幹夫]
- 「旅順大谷邸」と周水子「浴日荘」について [加藤斗規]
- 大谷光瑞と西本願寺上海別院・無憂園——上海の日本人留居民社会の生活空間を中心として [陳 祖恩]〈李 曼寧 訳〉
- 台湾・逍遙園と修復事業 [黄 朝煌]〈李 曼寧 訳〉
- 英国における大谷光瑞——場所と人々 [イムレ・ガランボス]〈亀山隆彦 訳〉
- トルコにおける大谷光瑞師の構想と農業 [エルダル・キュチュクヤルチュン]〈永島 育 訳〉
- 【資料紹介】「別府・観光都市計画」と晩年の大谷光瑞師 [掬月誓成]
- コメンテーターの総括と質疑応答 [三谷真澄・白須浄真・片山章雄・松居竜五]
- 執筆者紹介
- 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書14 刊行の辞 [楠 淳證]

# 最古の世界地図を読む

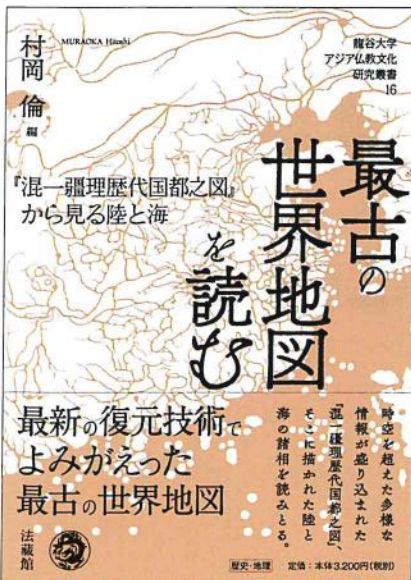
『混一疆理歴代国都之図』から見る陸と海

村岡 倫編  
(龍谷大学文学部教授)

龍谷大学アジア仏教文化アジア研究叢書 16

A5判・298頁・本体3,200円+税  
ISBN:978-4-8318-6385-0

最新の技術でよみがえった現存最古の世界地図——龍谷大学蔵『混一疆理歴代国都之図』を詳細に分析し、当時の人々の世界認識に迫る。



## ■目次

- はしがき[村岡 倫]
- 海洋が生んだ世界図——龍谷大学蔵『混一図』が示す海域像 [濱下武志]
- はじめに
- 一 『混一図』研究をめぐる諸課題
- 二 海洋から見た『混一図』
- 三 鄭和の大航海と海域世界
- 四 日本・琉球・東アジア海域をめぐる『混一図』の変化
- 五 琉球王国と東南アジア・日本・朝鮮・中国をつなぐ歴史文化情報
- 六 朝貢システムと海洋交易ネットワーク
- 七 東アジア・東南アジアにかけた朝貢体制の形成と琉球王朝『歴代宝案』
- 八 『混一図』と南洋——鄭和の西洋下りと琉球ネットワークの交錯
- 九 海洋文化と海神——海神媽祖と媽祖信仰圖
- おわりに
- モンゴル帝国時代の国境なき交流の道[村岡 倫]
- 一 「龍谷図」の概略
- 二 日本はなぜ逆さまに描かれているのか
- 三 モンゴル高原と中国本土を結ぶ交通路の拠点「野馬川」
- 四 モンゴル高原と中央アジアを結ぶ交通路の拠点「稱海」
- 五 『混一図』に記されるモンゴル高原の地名と交通路
- 六 『混一図』に描かれた海岸線
- 七 仏教における世界認識の研究に向けて
- 『混一図』に描かれた北東アジア[中村和之]
- はじめに
- 一 『混一図』の北東アジア地域についての記載
- 二 『混一図』に見える女真と『日本図』の刀伊
- 三 モンゴル時代の黒龍江・宋瓦江と『混一図』
- おわりに
- 『混一図』の保存のためのデジタル修復・複製[岡田至弘]
- 一 はじめに
- 二 「龍谷図」の現状および複製化
- 三 まとめ
- 「龍谷図」の彩色地名・歴代帝王国都および跋文[渡邊 久]
- 一 『混一図』の彩色地名と歴代帝王国都
- 二 『混一図』の跋文について
- 執筆者一覧
- 龍谷大学アジア仏教文化叢書16 刊行の辞[楠 淳證]

# 明治時代の東大寺

近代化がもたらした光と影

GBS実行委員会編 A4判・140頁・本体2,000円+税  
ISBN:978-4-8318-0717-5



時代が明治となって百五十年。明治維新とともに政治・産業・経済・文化・教育など多岐にわたって近代化が推し進められた時代、宗教の近代化とそれに伴う廃仏毀釈、神仏分離の動きは、一千年以上奈良や東大寺が育んできた歴史観、価値観を一変させた。社会構造が複雑化していく明治期における宗教の近代化を多角的にとらえ考察した待望の一冊。

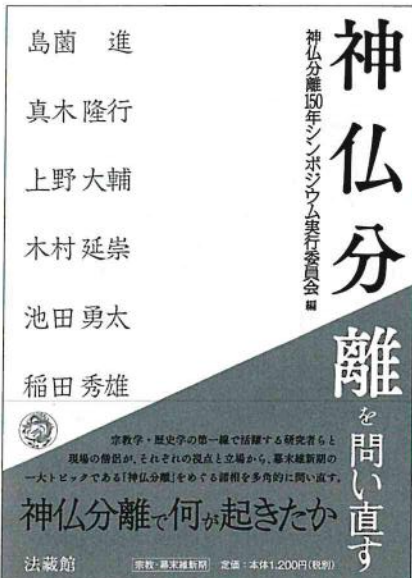
■目次

- 近代仏教史観の見直しと東大寺——正法理念と『金光明最勝王経』に着目して(島菌進)
- 明治期における神仏分離と修験道(田中利典)
- 東大寺に残る神仏習合(狭川宗玄)
- 東大寺を管轄した時代の浄土宗——『教導職要用記』を手がかりとした予備的考察(谷川穰)
- 文化財写真の資料的意義——明治時代の奈良の調査を中心に(田良島哲)
- 近代南都と奈良博覧会(黒岩康博)
- 近世近代移行期の東大寺——組織の変遷を中心に(坂東俊彦)
- 全体討論会 明治時代の東大寺——近代化がもたらした光と影

# 神仏分離を問い直す

神仏分離150年シンポジウム実行委員会編

四六判・192頁・本体1,200円+税・ISBN:978-4-8318-5562-6



宗教学・歴史学の第一線で活躍する研究者らと現場の僧侶が、それぞれの視点と立場から、幕末維新时期の一大トピックである「神仏分離」をめぐる、「神」と「仏」の単純な分離や、仏教の法難、神道の地位上昇という意義に留まらない諸相を多角的に問い直す。

■目次

- シンポジウム開催にあたって(高木智見)
- 基調講演 明治初期の宗教政策と国家神道の形成:神仏分離を中心に(島菌進)
- 発題一 中世における神仏習合の世界観(真木隆行)
- 発題二 近世史研究からみた神仏分離(上野大輔)
- 発題三 現代の宗教者から捉えなおす神仏分離と宗教的寛容(木村延崇)
- 特別寄稿 狂言と神仏習合:山伏狂言「梟」を中心に(稲田秀雄)
- 討議(司会:池田勇太/パネリスト:島菌進・真木隆行・上野大輔・木村延崇)
- 総括 神仏分離をどう考えるか(池田勇太)
- あとがき(神仏分離150年シンポジウム実行委員会委員長・洞春寺住職深野宗泉)

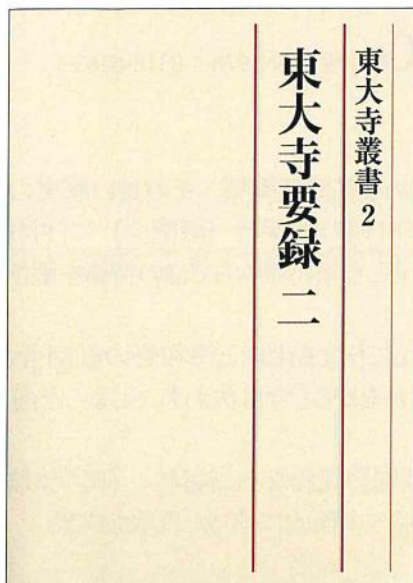


# 東大寺要録 二

東大寺叢書 2

東大寺史研究所編 A4判・392頁・本体30,000円+税・ISBN:978-4-8318-5202-1

東大寺研究の最重要史料をフルカラー影印版にて提供するシリーズの第二巻目。  
本巻には東大寺本要録の巻第三～巻第六までを収録。



■目次

|      |     |
|------|-----|
| 東大寺本 | 巻第三 |
| 東大寺本 | 巻第四 |
| 東大寺本 | 巻第五 |
| 東大寺本 | 巻第六 |

## 既刊

### 東大寺要録 一

A4判・370頁・本体30,000円+税・ISBN:978-4-8318-5201-4

1には東大寺本巻第一・二および醍醐寺本巻第一・二とその紙背文書を特別収録する。

■目次

|      |      |
|------|------|
| 醍醐寺本 | 巻第一  |
| 醍醐寺本 | 巻第二  |
| 醍醐寺本 | 巻第一裏 |
| 醍醐寺本 | 巻第二裏 |
| 東大寺本 | 巻第一  |
| 東大寺本 | 巻第二  |

## 新刊

# 清水寺 成就院日記 第五巻

清水寺史編纂委員会編

A5判・416頁・本体9,000円+税  
ISBN:978-4-8318-5155-0

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用日記。第5巻は延享四年七月～延享五年(寛延元年)と『慈心院日記』を収録。

■目次

|         |                  |
|---------|------------------|
| 成就院日記   | 延享四年七月～九月        |
| 成就院日記   | 延享四年十月～十二月       |
| 成就院日記   | 延享五年(寛延元年)正月～三月  |
| 成就院日記   | 延享五年(寛延元年)七月～九月  |
| 慈心院日記   | 延享五年(寛延元年)正月～十二月 |
| 解題(下坂守) |                  |

## 既刊

本体各9,000円+税

### 清水寺 成就院日記 第一巻 ※5151-2

第1巻は元禄7年から宝永2年までを収録。

### 清水寺 成就院日記 第二巻 ※5152-9

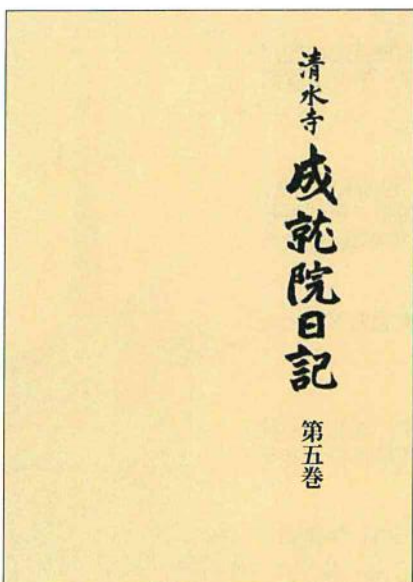
第2巻は宝永3年から享保5年までを収録。  
宝永4年の大地震時の大阪の津波や宝永の大火の記事も言及。

### 清水寺 成就院日記 第三巻 ※5153-6

第3巻は享保7年から元文5年までを収録。

### 清水寺 成就院日記 第四巻 ※5154-3

第4巻は元文6年から延享4年までを収録。



※=978-4-8318

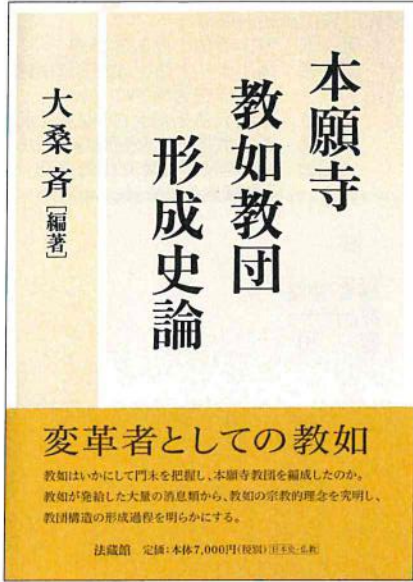
最新刊

# 本願寺教如教団 形成史論

大桑 齊編著  
(2020年4月逝去)

A5判・379頁・本体7,000円+税  
ISBN:978-4-8318-6258-7

大量の消息類を発給し、新たに真宗寺院を生み出すことで教団構造を編成した教如。その変革者としての知られざる姿を描きだす。



## ■目次

### 発記

#### 第一章 教如教団の形成——下付御影の検討から

- 第一節 御影論
- 第二節 御影下付
- 第三節 教団編成
- 第四節 教如教団の道場と寺院
- 第五節 教如消息の講と寺坊
- 第六節 御坊創建と等身御影
- 第七節 金沢御坊の再興と等身御影

#### 結びにかえて——教如教団の歴史的 성격 教如下付御影一覧

#### 第二章 教如教団形成における戦乱と開拓

- はじめに
- 第一節 越後蒲原地区の教如下付物と所蔵寺院
- 第二節 信州から蒲原平野への移住
- 第三節 蒲原への展開と講組織
- 第四節 教如の越後下向の試み
- 第五節 天正十年北信一揆
- 第六節 笠原本誓寺の関わり
- 第七節 開発と真宗門徒の勤労の倫理

#### 第三章 本願寺教如の救済論

#### ——消息・証判御文・掛幅の思想的検討

- はじめに
- 第一節 消息における救済論
- 第二節 教如証判御文の救済論
- 第三節 教如下付聖教抜書掛幅類における救済論

#### 付論1 東西分派論序説

#### ——天正末～文禄期における教団変革の視角から

- 第一節 地方有力寺院の自立
- 第二節 検地への対応
- 第三節 豊臣政権と教如

#### 付論2 真宗寺院成立史試論

#### 序 問題の所在—真宗において寺院とは

- 第一節 本願寺の成立
- 第二節 一般寺院の成立

#### 小括

#### 付論3 教如九州下向史料の検討——関白政権と本願寺

#### はじめに

- 第一節 天正十三年の雑賀陣見舞と北国下向——九州下向の前提
- 第二節 天正十五年往路中国路
- 第三節 天正十五年往路九州路
- 第四節 天正十五年復路九州路
- 第五節 天正十五年復路山陰路
- 第六節 天正二十年名護屋下向

#### [資料編]

#### 教如上人消息一覧(修正版)……川端泰幸

#### はじめに

- 第一節 教如の生涯と教如研究の意義
- 第二節 教如上人消息一覧凡例
- 第三節 教如上人消息一覧

あとがき

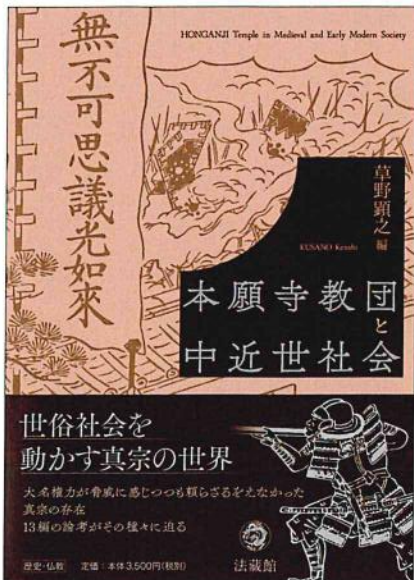
最新刊

# 本願寺教団と 中近世社会

草野顕之編  
(大谷大学名誉教授)

A5判・308頁・本体3,500円+税  
ISBN:978-4-8318-7728-4

権力者は宗教との間にどのような関係を構築したのか。宗教的世界に規定された列島社会の中近世という新たな歴史像を世に問う。



## ■目次

### 序論[草野顕之]

#### I 戦国争乱と本願寺

- 上杉謙信と笠原本誓寺——真宗寺院という戦国大名の外交チャンネル[工藤克洋]
- 三河一向一揆後の本願寺門徒衆の動向[安藤 弥]
- 本願寺と鉄砲[川端泰幸]
- 織豊期本願寺の起請文にみる神仏[山本春奈]

#### II 中近世移行期と本願寺

- 益田照従——本願寺と豊臣政権に仕えた家臣[湊 悠介]
- 本行寺准如と北陸門徒[木越祐馨]
- 本願寺教如をめぐる女性門徒について[青木 馨]
- 本願寺教如と織豊武士の茶の湯——慶長期豊臣家家臣との関係を中心に[山田哲也]
- 美濃地域の真宗寺院と織豊武士団——由緒書を中心に[老泉 量]

#### III 近世本願寺の諸相

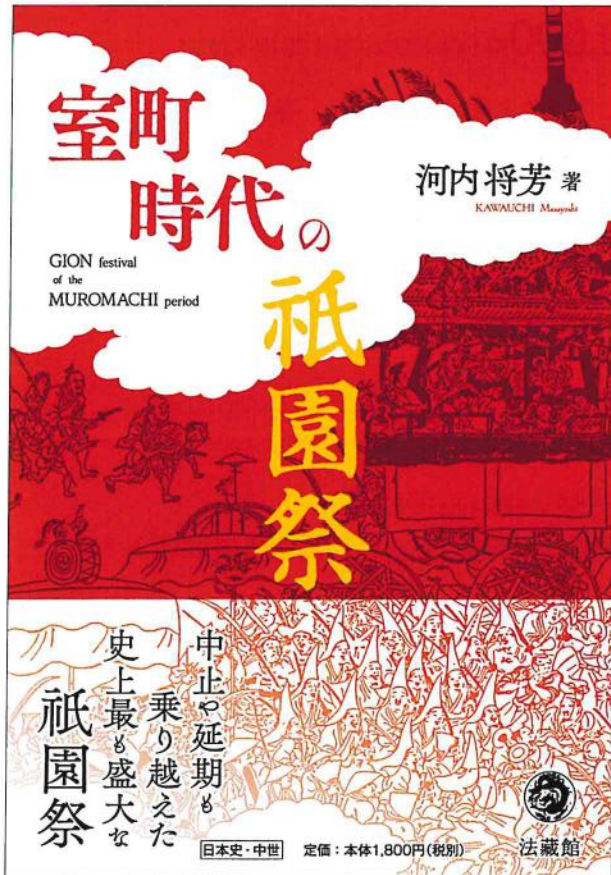
- 近世京都の都市開発からみる傾城町——隣りあう六条三筋町と東本願寺[松尾奏子]
- 近世地域真宗寺院の一瞥——野崎専応寺を例に[大畑博嗣]
- 真宗寺院の由緒書にみる統一権力像[松金直美]
- 親鸞伝の史実と伝承——親鸞伊勢参宮伝承をめぐって[草野顕之]

あとがき

執筆者一覧

最新刊

# 室町時代の祇園祭



河内将芳著  
(奈良大学文学部教授)

四六判・248頁・本体 1,800円+税・ISBN:978-4-8318-6263-1

今もなお人びとの注目を集める京都祇園祭。その長い歴史のなかで、最も盛大であった室町期の祇園祭（祇園会）に注目し、公武の権力者が京都に併存した室町期ならではの特徴を解き明かす。

さらに室町期の息吹を現代に伝える山口と津和野の祇園会と、その一方で室町期に行われながらも今は失われてしまった南都祇園会にも言及。

公武の権力者たちによる祇園会見物などに注目し、「町衆の祭」論を超えて室町期の祇園祭へ多面的に迫った貴重な成果。

## 目次

### はじめに

室町時代京都の祇園祭／河東の祇園社／洛中(上京と下京)／武家と公家／比叡山延暦寺

### 第一章 室町時代の神輿渡御

#### 1 神輿と御旅所

三基の神輿／大政所御旅所／少将井御旅所／先祖助正／御旅所神主と馬上役／馬上一衆・合力神人制／馬上御鉾十三本、神馬五疋／神輿に供奉／馬上役が下行されない人びと

#### 2 神幸路と駕輿丁

南門前の三鳥居／浮橋／堀川神人／神幸路／京極大路／三条大宮／大宮駕輿丁／師子を罪科に／喧嘩の実態／神がのる輿／蛤商人、今宮神人

### 第二章 室町時代の風流と山鉾巡行

#### 1 風流

馬長／山の登場／風流としての山／定鉾／風流としての定鉾／久世舞車／笠鷺鉾(鶺鴒)／一四日の風流としての笠鷺鉾(鶺鴒)

#### 2 山鉾巡行

京中鉾／下辺の鉾／『祇園会山鉾事』／六〇基の山鉾／山鉾の所在地／同じ所在地の山鉾／綾小路町四条間の船／笠／四条大路、三条大路を渡る／巡行路／『月次祭礼図屏風』(模本)に描かれた祇園会／乗牛風流／牛背／室町時代の風流と山鉾巡行

### 第三章 祇園祭と室町時代の武家・公家

#### 1 武家の祇園会見物

足利尊氏の祇園会見物／足利義詮の祇園会見物／見物と触穢／足利義満の祇園会見物／室町殿(足利家の家督)の祇園会見物／足利義持の祇園会見物／足利義教の祇園会見物／祇園会見物をしなかった足利義勝／足利義政の祇園会見物／式日の混乱／義教を先例とする／山鉾巡行の混乱／戦国時代の先例となった義政の御成・見物／義持による見物の重要性

#### 2 公家の祇園会見物

公家衆の祇園会見物／後小松上皇・称光天皇の祇園会見物／後小松上皇の御所望／仰せと所役／北畠笠鷺鉾と大舎人鉾の推参／棧敷を構えず見物する／後花園天皇の御所望／祇園会と延暦寺大衆

### 第四章 伝えられた室町時代の祇園会

#### 1 山口祇園会、津和野祇園会

在京する武士たちの祇園会見物／山口祇園会／『山口祇園会毎年順勤人数之事』／大内盛見の在京／技能が必要とされた「鷺の舞」／津和野祇園会／鷺舞の式をあらためて習い來たる／左義長を囃す大黒／室町時代の息吹を伝える

#### 2 南都祇園会

祇園社の勧請／南都祇園会のはじまり／南都祇園会の風流／山・舞車・笠／舞車相論と探取／探を取らない手搔郷／失われた南都祇園会

### おわりに

祇園会の再興／なぜ明応九年に再興されたのか／中京火事と神勅／三十三箇年／恠異と奇跡

関連略年表／【参考文献】・【図版出典一覧】／あとがき



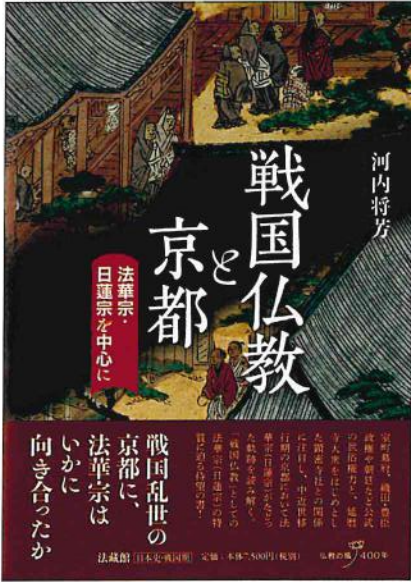
# 戦国仏教と京都

法華宗・日蓮宗を中心に

河内将芳著  
(奈良大学文学部教授)

A5判・394頁・本体7,500円+税  
ISBN:978-4-8318-6252-5

公武の世俗権力や顕密寺社との関係から、戦国期京都で法華宗(日蓮宗)が辿った変化の軌跡と、「戦国仏教」としての同宗の特質に迫る。



## ■目次

序

I 師僧と檀徒

第一章 戦国期・近世初頭における本阿弥一類の法華信仰

補論 近衛家「奥御所」の臨終

第二章 戦国末期畿内における一法華宗僧の動向

一日珙『己行記』を中心に

第三章 「法華宗の宗徒」松永久秀

II 寺地と京都

第一章 天文法華の乱後、法華宗京都遷住に関する考察

一近江六角氏との関係を中心に

第二章 中世本能寺の寺地と立地について

一成立から本能寺の変まで

補論 中世本能寺の弘通所敷地について

第三章 中世妙頭寺の寺地と立地について

補論 荒木村重女房衆と妙頭寺の「ひろ籠」

III 勸進と経済

第一章 「天正四年の洛中勸進」再考

一救済、勸進、経済一

第二章 勸進と法華宗

一新在家を中心に

第三章 「洛中勸進記録」について

一中世京都における「都市文書」との関連において一

IV 東山大仏と京都

第一章 東山大仏の歴史的意義

第二章 東山大仏と豊臣政権期の京都

一秀吉在世時を中心に

第三章 東山大仏千僧会の開始と「宗」「寺」

付論 新多武峯と大織冠遷座について

補論 藤井学著『法華文化の展開』

『法華衆と町衆』について

終

成稿・原題一覧

あとがき

索引

# 近世京都寺社の文化史

村上紀夫著  
(奈良大学文学部教授)

A5判・356頁・本体8,000円+税  
ISBN:978-4-8318-6253-2

経済基盤の脆弱な京都の中小規模の寺社が、存続かけてとった戦略を明らかにし、その背景にあった近世都市固有の宗教的需要を読み取る。



## ■目次

ある岩の歴史——序にかえて——

第I部 都市の信仰と神社

第一章 京都の町と神社

——一六・一七世紀における菅大臣社の動向から——

第二章 一八・一九世紀の菅大臣社と門跡・「宮寺」・町

第三章 近世中期における祇園社本願と「同宿」

第四章 一九世紀京都近郊の神社と神人

——日向神明社にみる——

補論 消えた「迷子社」とその信仰史

第II部 寺院と葬送・墓地

第一章 近世阿弥陀ヶ峰の火屋と良恩寺

——火葬施設・寺・町——

第二章 近世京都における無縁墓地と村落・寺院

第三章 無縁墓地「南無地藏」考

第四章 空也堂・鉢叩きの大坂

補論 清水坂の「坂の者」と愛宕念仏寺

終章 一八世紀京都の都市と宗教

初出一覧

図版出典一覧

あとがき

索引

# 「ぞめき」の時空間と如来教

## —近世後期の救済論的転回

いしはら やまと  
石原 和著

▼A5判・上製カバー・370頁・本体四、五〇〇円十税

▼A5判・上製カバー・370頁・本体四、五〇〇円十税



一九世紀を迎える頃、日本宗教史上の大転換が起こった。騒々しくも賑わう「ぞめき」の名古屋を舞台に、如来教、真宗、民間信仰の枠を超えて「身体」から「心」へと、救済論が質的転回を遂げたことを明らかにする。

2020年8月刊行

### 【目次】

#### 序章

結章 本稿の成果と課題・展望

第一部 一八〇〇年前後の救済課題と如来教

初出一覧  
あとがき

第一章 一八〇〇年前後における救済の動揺

—三業惑乱と如来教

第二章 名古屋城下の真宗異安心と如来教

—尾州五人男をめぐる

第三章 「渴仰の貴賤」と如来教

—作善実践に向き合う

第二部 一八〇〇年前後名古屋の宗教

環境と如来教世界の形成

第一章 如来教世界の形成過程と秋葉信仰

第二章 如来教説教の想像力としての近世

親鸞伝

第三章 文政地震と如来教

#### ◆著者略歴

一九八八年愛知県生まれ。二〇一一年立命館大学文学部人文学科日本史学専攻卒業、二〇一二年同大学大学院文学研究科日本史学専修博士課程前期課程修了、二〇一七年同大学大学院文学研究科日本史学専修博士課程後期課程修了。博士(文学・立命館大学)。現在、国立民族学博物館人類基礎理論研究部プロジェクト研究員(二〇一七年)、立命館大学授業担当講師(二〇一八年)。本書取裁論文の他、主要な論文に「一九二〇年代後半における『如来教』の『創出』—石橋智信の研究から」(桂島宣弘編『東アジア遭遇する知と日本』文理閣、二〇一九年)、「民衆宗教」(『日本宗教史のキーワード』近代主義を超えて『慶應義塾大学出版会、二〇一八年)、など。

|                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| 注文書                           |                |
| (書店印)                         | 様冊             |
| ご担当                           | 法藏館 本体四、五〇〇円十税 |
| 石原 和著                         |                |
| 「ぞめき」の時空間と如来教                 |                |
| —近世後期の救済論的転回                  |                |
| ISBN: 978-4-8318-6264-8 C3015 | 住所             |
| お名前                           | お電話            |

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗 教

# 信長が見た戦国京都

— 城塞に囲まれた異貌の都

法蔵館文庫

かわうち まさよし  
河内将芳著

▼文庫判・並製カバ！240頁・本体 九〇〇 円十税

2020年9月刊行



同時代の史料から、戦国期京都が辿った激動の軌跡を尋ね、都市民らの視線を通して信長と京都の関係を捉え直した斬新な戦国都市論。

## 【目次】

はじめに 「異形」の者たちの上洛

### 第一章 若き信長と城塞都市京都

- 1 上京・下京と洛中洛外
- 2 惣構に囲まれた上京・下京

### 第二章 自衛・自治する町と町人

- 1 惣構の中の都市世界
- 2 惣町・町組・町の成立

### 第三章 林立する日蓮宗寺院と信長

- 1 惣構の一角を占める日蓮宗寺院
- 2 信長と敵対していなかった日蓮宗寺院

### 第四章 信長と京都の深い溝

- 1 足利義昭と再上洛した信長
- 2 義昭の謀叛と上京焼き討ち

### 終章 信長、京都に死す

略年表

参考文献／あとがき／文庫版あとがき

#### ◆著者略歴

一九六三年生まれ。京都大学大学院博士課程修了。京都大学博士(人間・環境学)。現在、奈良大学文学部教授。主な著書に『中世京都の民衆と社会』(思文閣出版)、『歴史の旅 戦国時代の京都を歩く』(吉川弘文館)、『戦国京都の大路小路』(戎光祥出版)、『宿所の変遷からみる 信長と京都』(淡交社)、『戦国仏教と京都』(法蔵館)などがある。

## ◎好評既刊！

かわうち まさよし  
河内将芳著

シリーズ権力者と仏教①

秀吉の大仏造立

▼四六判上製カバ！三〇〇頁・本体 二、〇〇〇 円十税

|                              |           |
|------------------------------|-----------|
| 注文書                          |           |
| (書店印)                        |           |
| 様冊                           | ご担当       |
| 河内将芳著                        | 法蔵館       |
| 河内将芳著                        | 本体九〇〇 円十税 |
| 信長が見た戦国京都                    |           |
| — 城塞に囲まれた異貌の都                |           |
| ISBN:978-4-8318-2614-5 C1121 |           |
| 住所                           | お名前       |
| お電話                          |           |

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・戦国期

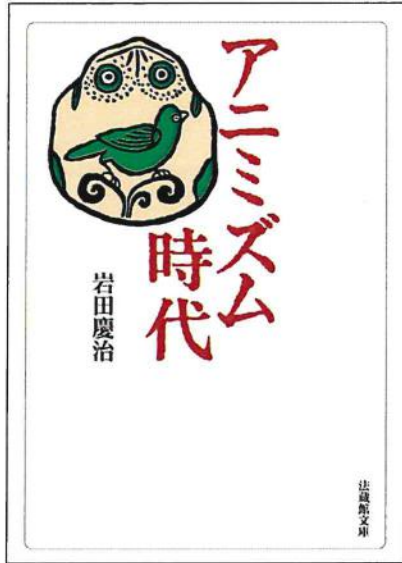
# アニミズム時代

《法蔵館文庫》

岩田慶治いわたけいじ「著」、松本博之（奈良女子大学名誉教授）「解説」

文庫判・並製カバー・三四七頁・本体一、二〇〇円＋税

2020年9月刊行



森羅万象のなかにカミを経験する。その経験の場とはいかなる時空なのか。アニミズム、そしてシンクロニシティ（同時性）空間論によって自然との共存共生の方法を説く、岩田アニミズム論。その到達点を示す名著が待望の文庫化。巻末に「いま、なぜアニミズムなのか」を追加収録。

はじめに 〈アニミズムの時代〉が来る

## I アニミズムとは何か

カミの出現 アニミズムの見取り図  
 宗教の海 宗教の発端としての「大洋感情」  
 魂のトポロジー 魂の交流する空間

## II カミのいる時空

穴のあいた空間 神、カミ、そしてカミ以前へ  
 自分マンダラが動く 自然のなかへ融けこむ  
 シンクロニシティの空間 因果性と同時性  
 草木虫魚教のゆくえ アニミズムという画面

## III 画面のなかの自分

大地の色 大地という空間  
 生死の風景 風景画のなかの自分  
 私の山河 無限を含む風景  
 宇宙と交感する 身体という自然  
 風景のなかへ アニミズムの風景学

## IV 宇宙の森

森の思想・森の生き方 南の森から学ぶ  
 宗教の森 宇宙にむかうエコロジー

あとがき  
 付記 いま、なぜアニミズムなのか  
 初出一覧  
 解説 松本博之

【著者略歴】一九二二年、横浜市生まれ。京都大学文学部卒業。京都大学大学院特別研究生、大阪市立大学教授、東京工業大学教授、国立民族学博物館教授、大谷大学教授を経て、東京工業大学名誉教授、国立民族学博物館名誉教授。著書に「カミの誕生——原始宗教——東南アジアの少数民族」「草木虫魚の人類学——アニミズムの世界」「コスモスの思想——自然・アニミズム・密教空間」「カミの人類学——不思議の場所をめぐって」「カミと神——アニミズム宇宙の旅」「道元の見た宇宙」「からだ・こころ・たましい——宗教の世界を旅する」「死をふくむ風景——私のアニミズム」「木が人になり、人が木になる。——アニミズムと今日」「岩田慶治著作集」（全八巻）など多数。二〇一三年二月、逝去。

|                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 注文書                         |          |
| (書店名)                       |          |
| ご担当                         | 様冊       |
| 岩田慶治 著                      | 法蔵館      |
| アニミズム時代                     | 一、二〇〇円＋税 |
| ISBN978-4-8318-2613-8 C0139 |          |
| お名前                         | ご住所      |
| お電話                         |          |

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

文化人類学

# 近世の天台宗と延暦寺

ふじたかずとし  
藤田和敏 [著]

四六判・上製・二五〇頁・本体三、五〇〇円＋税



近世史料から  
よみがえる  
天台宗と  
延暦寺の実像

私教団の本質である師弟関係の原理は、江戸幕府による統制と競合しながら近世に息づいていた。膨大な近世延暦寺文書を渉猟して論証するとともに、神仏習合と神仏分離の様相に新たな視点でせまらる。

2020年11月刊行

〔目次〕

序 近世仏教教団組織論の現状と課題  
第一章 研究史整理  
第二章 本書の課題と構成

第一編 近世延暦寺の組織と財政

第一章 近世延暦寺の組織構造  
はじめに  
第一節 延暦寺の諸役職  
第二節 「延暦寺三院僧徒臈次帳」と三学頭坊の人事  
第三節 法勝寺・元応寺戒和尚の選任過程  
おわりに

補論一 院室制度の展開

はじめに  
第一節 院室授与のあり方  
第二節 延暦寺における常院室  
第三節 院室授与の諸相  
おわりに

第二章 近世延暦寺財政の特質  
はじめに  
第一節 近世中期の財政状況  
第二節 近世後期の財政状況  
おわりに  
第三章 明治維新时期における天台宗と延暦寺  
はじめに

第一節 日吉社における廃仏毀釈  
第二節 三御門室による天台宗管領  
第三節 三執行代に対する院室授与  
第四節 諸国天台宗寺院の再編成  
第五節 管領正庁の設置と教導職の任命  
おわりに

補論二 西塔正観院灌室の形成と展開

はじめに  
第一節 元禄期の成菩提院灌室と西塔  
第二節 正観院の成菩提院兼帯  
第三節 山門五箇灌室と正観院との争論  
おわりに

第二編 地域における教団組織の構造

第一章 播磨国における寺院序列の展開  
はじめに  
第一節 享保期における争論  
第二節 東照宮万部法会廻状一件と法会の実態  
おわりに

第二章 出雲国における寺院序列の展開

はじめに  
第一節 出雲国一国会座次争論一件  
第二節 瑞雲寺国色衣争論一件  
おわりに  
第三章 郷鎮守神宮寺の存在形態  
はじめに

第一章 丹波亀山城下町の成立と矢田八幡宮  
第二章 氏子と大智院の山林利用  
第三章 亀山藩・鶏足院による大智院への支配  
おわりに

終章 近世仏教教団組織論の総合化を目指して

第一節 総括  
第二節 課題と展望

あとがき  
索引

〔著者略歴〕一九七二年、愛知県に生まれる。一九九六年、立命館大学文学部史学科卒業、二〇〇五年、京都府立大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学、博士（歴史学）。現在、大本山相国寺寺史編纂室研究員、叡山学院比叡山文化研究所研究員。著書に、「甲賀忍者の実像」（吉川弘文館、二〇一二年）、「近世郷村の研究」（吉川弘文館、二〇一三年）、「古都税の証言―京都の寺院拝観をめぐる問題―」（分担執筆、京都仏教会編、丸善ブライネット、二〇一七年）、「近代化する金閣―日本仏教教団史講義―」（法蔵館、二〇一八年）などがある。

|                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| 注文書                         |              |
| (書店名)                       |              |
| 様                           | 冊            |
| ご担当                         | 法蔵館 三、五〇〇円＋税 |
| 藤田和敏著                       |              |
| 近世の天台宗と延暦寺                  |              |
| ISBN978-4-8318-7742-0 C3021 |              |
| お名前                         | お住所          |
| お電話                         |              |

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・仏教史



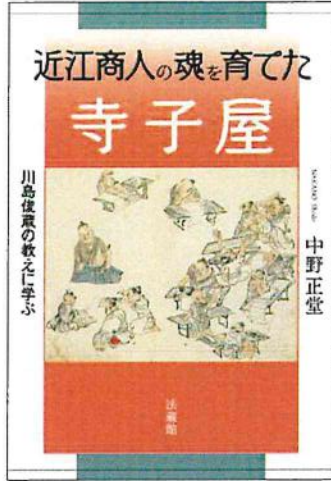
# 近江商人の魂を育てた 寺子屋

— 川島俊蔵の教えに学ぶ

なかの しょうどう

中野正堂著 ▼ 46判・並製カバー・192頁・本体二、〇〇〇円十税

2020年8月刊行



近江商人発祥の地の一つ滋賀県五個荘地区では、江戸期より寺子屋教育が盛んに行われた。「三方よし」を育んだ豊かな精神の源を知る。

## 【目次】

推薦の辞(西村恵信)  
はしがき(中野正堂)  
はじめに

- 一 宮山公園の歌碑
- 二 世界が驚いた、江戸時代の日本の教育
- 三 江戸時代の近江・五個荘地区の教育

### 第一章 五個荘の寺子屋

- 一 概要
- 二 時習齋

### 第二章 川並の寺子屋

- 一 川島俊蔵と寺子屋に関わる資料
- 二 宝永年間開業の寺子屋
- 三 川島俊蔵の寺子屋

### 第三章 近江商人を育てた寺子屋

- 一 往来物
- 二 商人に必要な読み・書き・計算を教える
- 三 近江商人の心を育てる

### 第四章 庶民の心を支えた「神儒仏一致」の教え

- 一 外来思想と土着宗教の関わり
- 二 近世における「神儒仏」の関わり

### 終章 川島家寺子屋の廃業

- 一 俊蔵の生きた時代
- 二 桜田門外の変への関心
- 三 福沢諭吉の『訓蒙窮理図解』に学ぶ
- 四 寺子屋の廃業と川並学校

あとがき

#### ◆著者略歴

臨済宗妙心寺派乾徳寺住職(東近江市五個荘川並町)。昭和24年滋賀県生まれ。昭和48年3月同志社大学法学部政治学科卒業。同年4月より滋賀県立大津商業高校社会科教諭を皮切りに37年間県立高校や県教育委員会などに勤務。平成22年3月に滋賀県総合教育センター所長で定年退職。平成22年4月より3年間滋賀学園中学・高等学校に校長として勤務。平成25年4月より5年間東近江市教育研究所に所長とし勤務。剣道(七段)、滋賀県剣道連盟会長。

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| 注文書                          |            |
| (書店印)                        | 様冊         |
| ご担当                          | 法藏館        |
| 中野正堂著                        | 本体二、〇〇〇円十税 |
| 近江商人の魂を育てた寺子屋                | 一住所        |
| — 川島俊蔵の教えに学ぶ                 | お電話        |
| ISBN:978-4-8318-5715-6 C1015 | お名前        |

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗 教

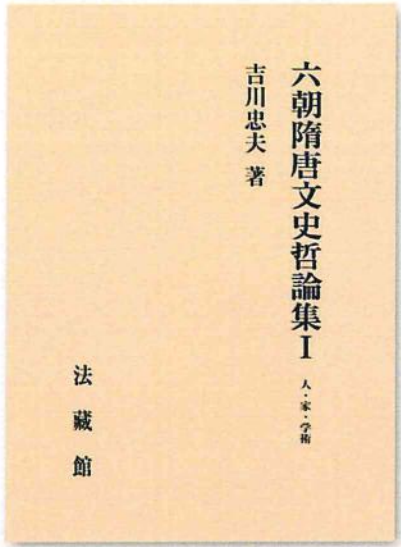
# 六朝隋唐文史哲論集Ⅰ

人・家・学術

よしかわただお  
吉川忠夫 [著]

A5判・上製函入・六三四頁・本体一〇、五〇〇円＋税

2020年11月刊行



六朝隋唐期の学術史・宗教史研究にひとときわ輝かしい成果を著わしてきた著者がみずから論考を厳選して編んだ待望の論文集。  
学術史を明らかにする一二篇を収録。  
※『六朝隋唐文史哲論集Ⅱ』と同時刊行。

## 【目次】

### 緒言

### 序章 六朝隋唐時代の社会と思想

#### 第Ⅰ部 人と家

- 一章 歴史のなかの伯夷叔齊
- 二章 薄葬の思想
- 三章 皇甫謐の「篤終論」
- 四章 陶淵明の「戒子書」をめぐる
- 五章 此れも亦た人の子なり  
——六朝時代における「四海の内皆な兄弟」の思想——
- 六章 読「庭誥」
- 七章 梁の徐勉の「誡子書」
- 八章 嶺南の歐陽氏
- 九章 李泌と「鄴侯家伝」
- 十章 中唐の韋渠牟  
——道士として、僧として、また官人として——

#### 十一章 劉軻伝——中唐時代史への一つの試み——

#### 第Ⅱ部 学術

- 一章 六朝時代における家学とその周辺
- 二章 鄭玄の学塾
- 三章 後漢末における荊州の学術
- 四章 蜀における讖緯の学の伝統
- 五章 汲冢書発見前後
- 六章 裴駰の「史記集解」
- 七章 北魏孝文帝借書攷
- 八章 島夷と索虜のあいだ  
——典籍の流传を中心とした南北朝文化交流史——
- 九章 元行沖とその「釈疑」をめぐる
- 十章 韓愈と大顛

初出一覧  
索引

【著者略歴】一九三七年、京都市生まれ。京都大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。東海大学文学部専任講師、京都大学教養部助教授を経て、京都大学人文科学研究所助教授、同教授（一九九一～一九九三年所長。二〇〇〇年、停年退官、京都大学名誉教授。花園大学客員教授、国際禅学研究所所長、龍谷大学文学部教授を経て、同大学客員教授。日本学士院会員。  
【主著】『劉裕』（人物往来社。後に中公文庫）、『王羲之——六朝貴族の世界——』（清水新書、清水書院。増補して岩波現代文庫。後に清水書院「新・人と歴史」版）、『侯景の乱始末記——南朝貴族社会の命運——』（中公新書。後に増補して志学社選書）、『六朝精神史研究』（同朋舎出版）、『中国古代人の夢と死』（平凡社選書）、『秦の始皇帝』（集英社。後に講談社学術文庫）、『魏晉清談集』（講談社）、『書と道教の周辺』（平凡社）、『古代中国人の不死幻想』（東方書店）、『中国人の宗教意識』（中国学芸叢書、創文社）、『説書雑誌——中国の史書と宗教をめぐる十二章——』（岩波書店）、『顔真卿伝——時事はただ天のみぞ知る——』（六朝隋唐文史哲論集Ⅱ—宗教の諸相—）（いずれも法藏館）など。

|                             |  |        |
|-----------------------------|--|--------|
| 注文書                         |  | 様冊     |
| (書店名)                       |  | ご担当    |
| 法藏館 一〇、五〇〇円＋税               |  | 吉川忠夫 著 |
| 六朝隋唐文史哲論集Ⅰ                  |  | 人・家・学術 |
| ISBN978-4-8318-7740-6 C3022 |  | ご住所    |
| お名前                         |  | お電話    |

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正而通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

東洋史

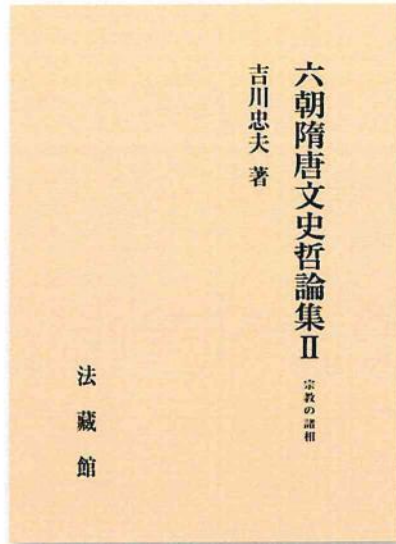
# 六朝隋唐文史哲論集Ⅱ

宗教の諸相

よしかわただお  
吉川忠夫 [著]

A5判・上製函入・六九〇頁・本体一一、五〇〇円＋税

2020年11月刊行



六朝隋唐期の学術史・宗教史研究にひとときわ輝かしい成果を著わしてきた著者がみずから論考を厳選して編んだ待望の論文集。

宗教史を明らかにする一六篇を収録。  
※『六朝隋唐文史哲論集Ⅰ』と同時刊行。

## 〔目次〕

- 一章 中国六朝時代における宗教の問題
- 二章 宗教の時代としての六朝隋唐
- 三章 五岳と祭祀
- 四章 日中無影——戸解仙考——
- 五章 許邁伝
- 六章 仏道論争のなかの陸修静
- 七章 襄陽の道安教団
- 八章 五、六世紀東方沿海地域と仏教  
——棋山棲霞寺の歴史よせて——
- 九章 六朝末隋唐初の儒林と仏教
- 十章 隋唐仏教とは何か
- 十一章 唐代巴蜀における仏教と道教
- 十二章 王遠知伝
- 十三章 道教の道系と禪の法系
- 十四章 一日作さざれば一日食らわず  
——仏教と労働の問題——
- 十五章 「靈飛散方伝信録」の周辺
- 十六章 裴休伝——唐代の一士大夫と仏教——

後記  
索引

〔著者略歴〕一九三七年、京都市生まれ。京都大学文学部史学科卒業、同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。東海大学文学部専任講師、京都大学教養部助教授を経て、京都大学人文科学研究所助教授、同教授（一九九一―一九九三年所長。二〇〇〇年、停年退官、京都大学名誉教授。花園大学客員教授、国際禅学研究所所長、龍谷大学文学部教授を経て、同大学客員教授。日本学士院会員。

〔主著〕『綱裕』（人物往来社。後に中公文庫）、『王羲之——六朝貴族の世界——』（清水新書、清水書院。増補して岩波現代文庫。後に清水書院「新・人と歴史 拡大版」）、『侯景の乱始末記——南朝貴族社会の命運——』（中公新書。後に増補して志学社選書）、『六朝精神史研究』（同期舎出版）、『中国古代人の夢と死』（平凡社選書）、『秦の始皇帝』（集英社。後に講談社学術文庫）、『魏晉清談集』（講談社）、『書と道教の周辺』（平凡社）、『古代中国人の不死幻想』（東方書店）、『中国人の宗教意識』（中国学芸叢書、創文社）、『説書雑誌——中国の史書と宗教をめぐる十二章——』（岩波書店）、『顔真卿伝——時事はただ天のみぞ知る——』（六朝隋唐文史哲論集Ⅰ—人・家・学術—）（いずれも法藏館）など。

|                             |        |
|-----------------------------|--------|
| 注文書                         |        |
| (書店名)                       |        |
| 様冊                          | ご担当    |
| 法藏館 一一、五〇〇円＋税               | 吉川忠夫 著 |
| 六朝隋唐文史哲論集Ⅱ                  |        |
| 宗教の諸相                       |        |
| ISBN978-4-8318-7741-3 C3022 |        |
| 住所                          | お名前    |
|                             | お電話    |

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

東洋史

# 平安人物志

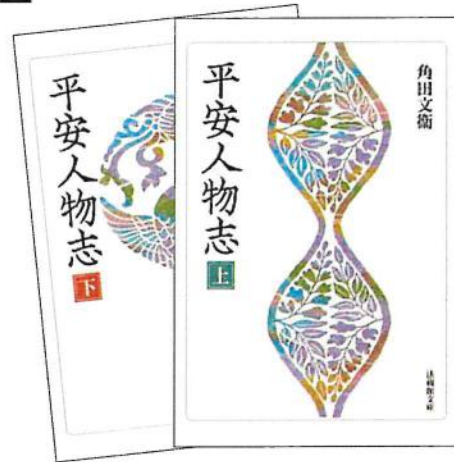
(上・下)

歴史

つのだ ぶんえい  
 角田文衛著  
 やまだ くにかず  
 山田邦和解説

▼文庫判・並製カバー！上巻488頁・下巻512頁・本体各一、七〇〇円十税

2020年11月刊行



考古学と文献史学を駆使した角田の推理が冴え渡る、41篇の人物伝。平安朝を生きた人々の数奇な生涯を鮮やかに描き出し、歴史のなかの女性の役割に光を当てた歴史的名著。不比等の娘たち、菅原道真怨霊説の黒幕、紫式部の生涯、建礼門院の晩年など、平安時代を知るための必読書。『源氏物語』『平家物語』参考書にも。

【目次】

〈上巻〉

- 不比等の娘たち
- 伊福吉部徳足比売
- 藤原清河とその母
- 藤原袁比良
- 水上陽候
- 藤原人数の素姓
- 藤原朝臣家子
- 板野命婦
- 竹野女王
- 大和宿禰長岡の事蹟
- 田村麻呂の母
- 葉栗臣翼の生涯
- 山科大臣藤原園人
- 唐舞師春海貞吉
- 亭子の女御
- 小野小町の身分
- 恬子内親王

〈下巻〉

- 右大臣源光の怪死
- 長野女王
- 石川朝臣長津
- 藤原基経の室家
- 菅家の怨霊
- 天神道真の怨念と功德
- 尚侍藤原淑子
- あとがき
- 初出一覧
- 右大臣道綱の母
- 為光の娘たち
- 大春日兼平
- 紫式部
- 源典侍のことも
- むまの中将
- 大輔の命婦
- 高階光子の悲願
- 為盛朝臣行状記
- 藤原行成の妻
- 中務典侍
- 二人の義経
- 建礼門院の晩年
- あとがき
- 初出一覧
- 解説 平安の都の人々への憧憬 (山田邦和)

【著者・解説者略歴】

◆角田文衛(つのだ ぶんえい)  
 一九一三〜二〇〇八年。福島県生まれ。歴史学者。京都帝国大学文学部史学科卒。考古学と文献史学を統合した古代学を提唱。その考察はアジア、ヨーロッパにも及ぶ。大阪市立大学教授、平安博物館館長兼教授、古代学協会理事長を歴任。著書は『角田文衛著作集』全7巻(法蔵館)ほか。

◆山田邦和(やまだ くにかず)  
 一九五〇年京都市生まれ。考古学・歴史学研究者。平安博物館、京都文化博物館、花園大学教授などを経て、現在、同志社女子大学教授・公益財団法人古代学協会理事。

|  |     |
|--|-----|
| 注文書  |     |
| (書店印)  |     |
| ご担当  | 様   |
| 上巻   | 冊   |
| 下巻   | 冊   |
| 法蔵館 本体各一、七〇〇円十税<br>角田文衛著、山田邦和解説<br>平安人物志 (上・下) |     |
| 上巻 ISBN: 978-4-8318-2616-9 C1121               | お電話 |
| 下巻 ISBN: 978-4-8318-2617-6 C1121               | お名前 |
|  | ご住所 |

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

# 2020年 日本史研究会 割引注文書

|  | 書名 | 著者名 | 注文数 |
|--|----|-----|-----|
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |
|  |    |     |     |

|                   |     |       |  |      |  |
|-------------------|-----|-------|--|------|--|
| お名前               |     |       |  |      |  |
| ご住所               | 〒   |       |  |      |  |
| お電話               |     |       |  |      |  |
| 公費                | 有・無 | 現職    |  | 所属学会 |  |
| 〈どちらかを○で囲ってください。〉 |     | 書類の宛名 |  |      |  |
| 見積書               | 通   | 大学名   |  |      |  |
| 納品書               | 通   |       |  |      |  |
| 請求書               | 通   | 個人名   |  |      |  |
| 日付                | 通   |       |  |      |  |

法蔵館 販売促進部行 FAX : 075-371-0458